



# はまなすの実



— 第 21 号 —

北海道文教大学同窓会

「つるの会」

恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番 1

北海道文教大学内

TEL(0123)34-2515

発行責任者 後藤田倫子

平成 25 年 1 月 31 日



創立 70 周年を迎えた鶴岡学園は、記念式典・祝賀会を開催。出席された同窓生の方々に、70 周年の節目に触れての思いを伺いました。

写真：北海道文教大学吹奏楽部の吹奏風景

## 「創立 70 周年記念式典に出席して」

北海道栄養短期大学食物栄養学科

1 期 斉藤 道子 (旧姓 平方)

創立 70 周年を迎えられた事おめでとうございます。

6 月 8 日学園講堂には、多数の来賓、関係者並びに同窓生が出席し式典は行われました。その後続く祝賀会では、日本の文化遺産である「能楽」が鼓の音の響く中厳かに舞われました。海外協定校の方々も出席しておられました。皆感無我の境地で見聞したことでしよう。とてもよい式典でした。

70 年を追ってみると南 3 条校、北 21 条校、藤の沢校そして現在の恵庭校と場所を移すごとに敷地面積は広くなり専門学校から短大大学といまでは総合学園と言っても良いほど発展しています。同時に同窓生の数も

2 万人にせまる大家族となりました。

就職難が聞かれる世相の中、就職率が 90%~98% と聞くと誇らしく思えてきます。加えて管理栄養士合格率全国上位に在ることにも敬意を表したいと考えるところです。

一昨年「東日本大震災」では当地で被災された同窓生も大勢いらしたかと思われ。心よりお見舞い申し上げます。

大学は、被災した在学生、入学決定者に対し勉学が延長できるように配慮して下さったようです。ややもすると大学が大きくなりすぎて本来人間の根本にあるべき「心」をも教えることが抜けてしまいかねません。被災学生に差し延べた手や心をも教える大学であってほしいと願うところです。

## はまなすの実 21 号 ～記事一覧～

- 1.2P 北海道文教大学創立 70 周年式典
- 3P 東日本大震災、教育・研究助成金
- 4.5P 胆振支部会 講演会・懇親会
- 6.7P 食育教室、OB 訪問、よりみち
- 8P 大学祭、給食イベント
- 9P 収支報告、平成 24 年度事業経過報告
- 10P 同窓会総会、個人情報保護、編集後記

## 「つるの会」からのお知らせ ～同窓会室のご案内～

同窓会室は北海道文教大学 1 号館 2 階にあります。

月・火・金に開放されております。

お気軽に、お越しください。

月 10:00 ~ 14:00

火 10:00 ~ 14:00

金 10:00 ~ 14:00

(水・木・土日祝日はお休みを頂いております)

# 北海道文教大学 70 年式典に参加して

同窓会では、この鶴岡学園 創立 70 周年に際して、800 万円の寄付金を行いました。



写真：「能楽」観世流



写真：恵庭岳太鼓



写真：演奏を聴いて楽しんでいらっしゃるOBの方々



## 「振り返って」

北海道栄養短期大学

食物栄養学科

4期 長澤 愛子 (旧姓 二宮)

本学園 70 周年おめでとうございます。

平成 24 年 6 月 8 日 式典及び

祝賀会に出席させて頂きました。

月日が経つのが早いもので私の知っている人たちはごく僅かになって歳を取ったんだなあと感じました。

学校を卒業してすぐ当時の青山会長、そして北崎会長と共に同窓会の仕事に数年間携わってまいりました。

当時、支部別にも作っていた同窓会のお知らせに手分けして宛先のシールを貼ったりとパソコンに向かって作業していた事が色々思い出されます。

会報「はまなすの実」を読み、支部が活躍していることを知り大変嬉しく思っています。

また、高校の方でも平成 4 年から 17 年間同窓会会長をしていましたが、どの同窓会も悩みの種は宛先不明者が多い事です。

住所の変更や氏名の変更といった連絡を頂けない限り同窓会の活躍やお知らせを届けることが出来ません。

同窓会のお知らせ等が届いていない方を知っている方は、同窓会に教えてあげてください。同窓会は卒業生が財産です。

これからも学園がますます発展していくためにも卒業生の力が必要となります。同窓生の皆様の活躍をお祈りいたします。



北海道栄養学校

13期 高橋由季 (旧姓 杉浦)

何時も其処には凛としたお姿のトシ先生がおられ、そばには厳格さと優しさを併せ持った新太郎先生がおられた。そしてそのすぐ後には如何なることをも耐え忍

んだシロミ先生がおられて文教は 70 年の歳を重ねることができた。

今は亡き諸先生方こんなに立派になることを想像されておいででしたか。

思えば一日も早い短大への昇格を願った私は、図書集めを始めた。夜遅くまで分類とラベル貼りに必死だった。北 21 条通りに木造 2 階建小さな北校舎が建ったが正面が何ともさみしい。なんとかしたい！思いは級友達に通じ、イボタが買えた。自分達で植えて体裁を整えた。

実験室はあったが必要な器具は無く横目で見ているだけだった。それでも新しい処は嬉しく、他校に引けは取るまいと皆よく勉強した。

後輩達ヨ、今環境は十分に整いました。知識先行型人間ではなく人に優しい鶴岡精神で次へ繋げてください。先輩はどこにいてもあなた達をしっかりと見守ります。



## 東日本大震災で被災された同窓生へお見舞金を送りました

平成23年3月に発生した東日本大震災。

つるの会では、この未曾有の震災で被災した同窓生66名に対し、同年11月末に東日本大震災見舞金として一律5万円をお見舞いの手紙と共に送りました。

お見舞金を受け取られた同窓生からは、震災当時の恐怖体験とともに感謝の気持ちをつづったお手紙が多数寄せられましたので一部抜粋してご紹介させていただきます。

◎31年前の一卒業生の事まで配慮下さるとは夢にも思いませんでした。

ライフラインが止まり生活するのも大変な中、ご近所の方との連帯感を何より感じました。一つの困難を克服するために共に生きる人たちが力を合わせる重要性を感じました。そして8か月後に母校からのお便りが届き境を越える人々の絆をより一層感じながら、古き良き青春時代を思い出しました。

◎我が家では棚の物が落ち大半が壊れ、割れたガラスが散らばるなか、幸い家の者に怪我はありませんでしたが、地震の恐怖を思い出しては身震いいたします。

有難いことに、地震直後、短大時代の友人に励ましのメールと電話をたくさんいただきました。学生時代の友人はかけがえのない存在です。あらためて北海道で過ごした2年間は思い出されます。いつの日か同窓会に参加できればと思います。

◎強烈な地震に見舞われ、それはかつて体験したことのない激しく長い揺れで沿岸部一帯原型をとどめない無残な姿に変わり果て、身震いのする心が折れそうな恐ろしさでした。

他県の親類宅に避難し落ち着きを取り戻しましたが、余震を感じては緊張が走り落ち着きません。

今後は、明日という日がある限り幸せを信じてつるの会の皆様のお気持ちも支えに前向きに頑張っていきます。

◎思いもかけぬお気持ちに、只々驚き感激し、心苦しささえ感じています。

自宅は破損こそあれ、家族も無事でした。

現在栄養士として、やりがいのある素敵なお仕事をさせて頂いております。震災直後は保健師・看護師とともに家屋の消毒や入手困難な食事のお世話などに駆け回っておりました。一人一人にどのように声をかけ何もなくなってしまった中からどのように伝えて良いのか途方に暮れる毎日でもありました。栄養士として携わること35年。長い経験も知識も大きな自然の悪戯には太刀打ちできないのかと思う日々が続いていました。

今は「元気になろう！八戸」とみな声を上げ少しずつ元気を取り戻しつつあります。

この度の嬉しいお心遣いに感謝し、もっともっと元気を出して一人でも多くの方々の力になれるよう頑張ります。

今、遠く離れている母校がこのような形で学生時代を思い出させてくれています。橋本先生にも沢山しかられ(笑)お世話になりました。藤野の坂がとても懐かしいです。

## 教育・研究助成についてのお知らせ

北海道文教大学同窓会「つるの会」では、有能たる卒業生の輩出を促すとともに、つるの会会員の資質の向上と社会貢献を促し、ひいては大学の発展に寄与することを目的とし、北海道文教大学各学部・学科における各種教育・研究及び会員の皆様が行う研究に要する費用の助成をしております。

### ○ 助成対象とする教育・研究

各学部・学科に関するものとします。

つるの会正会員にあっては卒業学科に関するものとします。

ただし、特定の企業、団体及び個人の利益、営利を目的とするものは対象外です。

### ○ 助成金を使用する教育・研究の期間

原則1年（年度）です。ただし、計画した教育・研究の性質上、複数年要する内容の場合は5年（年度）を上限に申請可能です。

### ○ 助成金の交付額

年度内総額150万円（上限）

### ○ 申請方法

教育・研究助成金交付申請書（第1号様式）に必要書類を添えて、交付を希望する前年度の12月1日から12月28日までの間につるの会会長に提出してください。

### ○ 交付決定

役員会で審査し、つるの会定期総会での承認を受けて決定します。

## つるの会 胆振支部会 開催

平成 24 年 9 月 8 日 (土)

室蘭市ホテルサンルート室蘭において、24 名の参加を得て胆振支部会を開催いたしました。講演は「みなさんの通った、懐かしき母校」と題し、食物栄養学科 3 期卒業の後藤田 倫子会長が卒業生には懐かしい、学校生活のお話をしてくださいました。

現在、文教大学は恵庭に校舎を構えていますが、以前は札幌市南区の藤野に校舎がありました。藤野校舎の頃は学生寮があり、後藤田さんやたくさんの先輩方が寝食を共にし、勉学に励み、そして多くのすばらしい栄養士を輩出してきました。

講演では寮生活の楽しみや、4 年制大学になってからの卒業生は知らない、冬の寮での暖房のお話がありました。今では見ることのない、「コークスを使ったストーブ」(コークスは石炭を蒸し焼きにしてできたもの)のコー



クスが配給制で、あったことなど、非常に興味深いお話でした。

その後の懇親会でも、みなさん学生頃のお話や、恵庭校舎が変わってからどのように大学が変わっていったのかなど、話は尽きることなく、同窓会の時間は過ぎていき、胆振支部の第 5 回となる同窓会は盛会裏に終わりました。

文責 池内 朋弥



### 「胆振支部同窓会に参加して」

北海道栄養短期大学 食物栄養学科  
5期 榊原三枝 (旧姓: 依田)

同窓会は、胆振支部長代理榊本浩司さんの挨拶に始まり、後藤田会長の「みんなの通った懐かしき母校」という題での講演、スクリーンには藤の沢の校舎、階段教室、寮、長い坂道などが映し出され、会長のユーモアたっぷりの説明も加わり話が弾みました。

私たちの食物栄養科は全寮制でしたので、特に寮での生活、裏山で薪拾い・コークスストーブ・アルミのお

弁当等の話で盛り上がり懐かしさと笑いでいっぱいでした。

幹事さんのご配慮により、豚肉と長葱の室蘭焼き鳥が振る舞われ好評を得ていました。

後半では自己紹介と近況報告があり、後輩たちの多方面でのご活躍に嬉しくまた、頼もしく思い楽しい時間を過ごさせていただきました。

最後になりましたが、私にとって公私ともに大変お世話になり、長年胆振支部長を務めていました菅原さんが欠席なされ、お会いできなかったことが残念でしたが、次回のこのような席でお会いできればと思っています。



### 「北海道文教大学胆振支部同窓会に参加して」

北海道文教短期大学食物栄養学科

32期 紺谷 はな乃 (旧姓：芝垣)

私が恵庭の文教短大を卒業したのは、もう17年前になります。卒業後すぐに札幌の給食委託業者で約6年働き退職、結婚出産を経て6年ぶりに福祉施設に再就職しました。

6年のブランクは大きく、「浦島太郎状態とはこのことね」と思い知らされました。そんな私は、再び母校の門を叩くべく佐藤節子先生に電話を掛けたのでした。先生は、再就職したことを褒めてくれ励ましてくれました。なぜか先生と話す自信が持てました。今あるのは、わが母校と佐藤先生のお陰です。



その母校の同窓会が室蘭で開かれると聞いて、初めて参加しました。同期がいた嬉しさもありましたが、同テーブルになった方々とも楽しくお話しでき、もっと早く出席すれば良かったと後悔しました。大先輩方のお元気ぶりには圧倒されるばかりでした。昔のスライドを見ながら懐かしむ姿は乙女でした。

若い会員の方もおり、ますます増えていく文教大学同窓会を私たちの年代でも盛り上げていきたいと思いました。

同窓会から戻り、しばらくして何気なく筆筒をのぞくと小箱を見つけました。開けてみると、鶴が羽を広げる姿の栄短の学章でした

どこか懐かしく、でも凛とした気分になりました。

## 同窓会に出席できなかった会員からのメッセージ

胆振で初めての支部会という事で参加したかったのですが仕事の都合がつかず残念です。

栄短のあの坂を登って学校に通ったのがつい昨日の様に思い出されますね。30年以上たっているのにね(笑)

北海道文教短期大学 幼児教育学科

11期 鎌田 則子さん (旧姓 飛澤)

久しぶりの再会に喜ばれている方もいるかと思えます。この機会を大切に楽しんでくださいね。

北海道文教短期大学 幼児教育学科

32期 西 理恵さん (旧姓 池本)

同日に札幌で43年振りに開かれる短大6期生同窓会へ出席したいと思います。初めての胆振支部が楽しい思い出となりますように！

北海道文教短期大学 食物栄養学科

6期 磯部 孝子さん (旧姓 森田)

体調が悪く出席できず残念です。学園発展のため、同窓会は大きな「力」となりましょう。(ガンバリ) ましょうね。

北海道栄養学校

1期 橋本 美佐子さん

参加することが出来ず残念です。後藤田会長のお話、楽しいでしょうね。ぜひ聞かせていただきたいかったです。

北海道文教短期大学 幼児教育学科

井上 かおりさん (旧姓 姫野)

案内状をいつもありがとうございます。参加する機会がもてず残念に思います。皆様のご活躍うれしく思い、会報を拝読させていただいております。

北海道文教短期大学 食物栄養学科

福森 由利子さん (旧姓 高橋)

### 平成25年度 日高支部会のご案内

日高地区の会員の皆様。第6回「つるの会」支部会が、平成25年度は、新冠町で開催されることとなりました。

私も、初めて前回の胆振地区の支部会(室蘭で10月に開催)に参加させていただき、同期の方はいませんでしたが、諸先輩、後輩のみなさんとなつかしい校舎や先生の話や、いろいろな昔の出来事に盛り上がり、また、学校の移り変わりに驚いたり、本当に楽しい時間を過ごしました。

今回は日高地区という事なので、この機会に大勢の方が参加していただければと思います。

気軽におしゃべりしながら、昔話に花を咲かせ、ひととき若かりし日?に戻りませんか!!

日高支部長 北海道文教短期大学 食物栄養学科 15期 有田 英子

## 北海道文教大学『食育教室 2012』に参加して

### 食育教室を通して気が付いたこと

北海道文教大学 人間科学部 健康栄養学科

1期 須合 幸司

北海道文教大学『食育教室』とは、健康栄養学科主催で、2004年度から行われている事業です。恵庭市の小学生やその保護者を対象にした、調理体験型の食育教室です。

現在、北海道文教大学 食物栄養学科 27期の村田貴子さん、部坂真奈子さん、宮崎理恵さんが外部管理栄養士として講師補助を行い、栄養学科の学生が補助スタッフになって運営されています。

私は、9月2日（日）に行われた、「えにわ通学合宿」の参加児童を対象にした、食育教室に同窓生スタッフとして参加いたしました。

参加した35名の児童は、グループ毎に分かれ、タコライス・サラダ・ミネストローネを作りました。

子どもたちは、たくさんの野菜を切るのに四苦八苦していましたが、終始楽しそうに調理していました。

食育教室で使われた野菜のほとんどは、恵庭の若手農業青年グループ「ルーキーズカンパニー」の方々が



生産したものでした。子どもたちが地元の生産者と共に過ごし、その方々が作った野菜を自分たちで調理し、おいしく食べるという行為は、大変すばらしいと感じました。

今回のように、先輩である同窓生と後輩である学生が共にひとつのイベントを通して、地域に貢献していくということは、栄養士という業界の発展にも、とても大切であると感じました。

## OB 訪問



### 「臨床、そして日々の生活」を楽しむために

北海道文教大学 人間科学部 理学療法学科

1期 中安 恭平

理学療法士になり早くも3年が経とうとしています。僕は旭川の重症児施設に就職し、可愛い子ども達に仕事着をなめられ、よだれでベトベトにされる毎日を過ごしています。本当に楽しい日々を過ごしています。

今年度卒業される皆さんもこれからどんどんこの仕事に魅力を感じていくと思いますが、臨床は本当に楽しいです。

臨床をしている時が今の生活の中で一番楽しく、土日も働きたいくらいです。休日は勉強がしたくなるのです。

学生時代、学業以外にすべてを注ぎ込んでいた中安を知る人には想像もできないでしょう。当時、学友会やボランティアに向いていた集中力、行動力が今はすべて仕事と勉強に向いている状況です。

「クライアントの病態解釈のためにあの学問を学びたい」、「〇〇先生のあの話を聞いてみたい」など興味が湧くと、道内だけでなく東北、関東、関西、東海、山陽、沖縄、イタリアと気の向くままに学びに行っています。すべては目の前にいる可愛い子ども達のためです。

人を笑顔にするために理学療法士になったことを、これからも忘れずたいです。初心忘れるべからずです。

そして今こうして自分の臨床を楽しみやりたいことがやれるのは、まぎれもなく大学時代に恩師や仲間がいたからです。皆さんはどうでしょうか。今まで自分ひとりの力でここまで来られた人はそういないはずです。人に支えられて今の自分が在るのは僕だけではないと思います。今まで支えられてきた分、仲間が悩んでいれば助けになりたい、僕はそう在りたいと思います。

「初心を忘れないこと」と「仲間を大切にすること」。

どちらも当たり前のことですが仕事が忙しくなればなるほど忘れてしまいがちなことです。

皆さんも是非「これだけは！」という日常の目標を立て、「臨床、そして日々の生活」を思い切り楽しんでいただければと思います。

### 伽羅 Liaison (きゃら りえぞん)

駅から大学へ向かう道を少し逸れ、緑の多い住宅街の中にある山小屋風のかわいらしい建物が食物栄養学科 27 期生 宮崎理恵さんがご主人の一義さんと営んでいるお店。

恵庭のパン工場で働いていたご主人でしたが「天然酵母で無添加パンを提供したい」という気持ちが強く、岡山県まで勉強に行き技術を取得、2011 年 8 月 10 日に自宅の敷地内にお店を開きました。

牛乳・卵アレルギーの方にも安心して食べていただけるように道産小麦 100%の天然酵母パンの他、メロンパン、クルミパン、ピザ、クロワッサン等様々なパンをすべて無添加生地を用意しています。

「焼きたてを食べてもらいたいから、あえて小さな窯を据え、日に何度も焼き上げています。毎朝 3 時起きです。」と語る宮崎さんの気持ちが込められた店は、住宅地の中ということで家族連れも多いため、ガラスケースの中に並べての対面販売です。

焼き立てやおすすすめを伺いながら買い物を楽しめます。

焼き立てパンのいい香りが満ちているお店をどうぞ尋ねてみてください。



恵庭市黄金南 1 丁目 17-22  
 営業時間 10:00 ~ 18:00  
 (なくなり次第終了)  
 定休日 月曜日と第 1・第 3 日曜日  
 電話 0123-25-3339



図. アクセスマップ

※ 2013 年 10 月末まで「はまなすの実 21 号」持参の方には、ラスクのプレゼントがあります。

### beads salon Atelier chamomile ビーズサロン アトリエカモミール

「いらっしゃいませ」はにかむような笑顔で迎えてくれたのは、北海道栄養短期大学生活文化学科生活デザインコース 27 期生の「yuki's」さん。

2010 年 12 月 10 日、作家活動 10 年目にして、念願のアトリエをオープンさせました。

店内は、日本各地で買い付けたビーズを使ったオリジナル作品が並べられキラキラ輝いています。

また、パーナーワークによるとんぼ玉の作成も行っており、作品のほとんどは一点もの。季節ごとに新作を楽しみに待っている長年のファンが多いとか。

また、「ご予約の際に『はまなすの実』を見て連絡を下さった方には、2013 年末まで 5% オフで提供させていただきます」とのこと。年に 2 回のイベントも主催しています。お友達をお誘いの上、足を運んでみてください。



北海道札幌市豊平区美園 36 号線沿  
 問い合わせ先 f\_color\_works@yahoo.co.jp  
 ブログ  
[http://blogs.yahoo.co.jp/chamomile\\_yuki](http://blogs.yahoo.co.jp/chamomile_yuki)

※ アトリエは土日不定期オープンとなっていますので、来店は事前にメールで確認をお願いしています。

## 榮凜祭に参加 一日限りの OGOB 給食レストラン開店

平成 24 年度 10 月 6 日、大学祭「榮凜祭」に、今年も同窓生が参加しました。食と健康のプロとして活躍している同窓生による給食に加え、幼児教育学科出身の同窓生が飾りつけを担当。当日は多くの方に足を運んでいただきました。



お品書き  
 ターメリックライス  
 エスカロップトマトソース  
 具たくさん野菜スープ  
 カラフルサラダ  
 さつまいものティラミス

テーマは「健康」  
 揚げないカツの  
 エスカロップ!!



3 年連続！卒業生給食提供イベントに参加して  
 北海道文教大学 人間科学部 健康栄養学科  
 3 期 中川真希

今年で卒業生の提供給食が 4 年目、私自身は 3 年連続の参加となりました。今回は新たな取り組みとして、お客様へのアンケートも行い、食後の感想やご意見をいただきました。お客様の多くは恵庭近郊の一般の方で、年齢層も 10 ～ 80 代と幅が広く、このうち約 3 割の方がリピーターとして足を運んでくださいました。

その食事風景は地域の方が大学へ来るちょっとした参観日のような趣となっていました。

ここ数年、某体重計会社や、某女子大学の健康食レシピが大変人気を呼んでいます。この人気と同じく近隣に住む方たちも、1 番自分の身近にあるこの文教大学に期待を寄せて下さっているように感じました。

食のスペシャリストを輩出している大学で、「どんなおいしい食事を提案しているのか」「健康管理とどう向き合っているのか」「どんな楽しみを与えてくれるのか」とそれぞれいろんな思いや期待をもって足を運んで来てくれているようでした。

また、今回のアンケートの中で「自宅に帰ってからも作ってみたい」という意見を多く頂きましたので、今後は、その年ごとの給食のメインメニューのレシピを配布するなどの工夫を考えています。

大学祭後の楽しみとして、その後の多くの方の食卓の 1 品となれば素敵なことだと感じます。

そして私にとってこの大学祭への参加は、自分自身の 1 年を振り返る大切な機会、今後の目標や発見を見つけ出して行く大切な場となっています。





# 24 年度事業経過報告

1. 同窓会名簿の整理 ホームページを充実させ名簿整理を行った
2. 卒業生への記念品 ネームペン (406 本)
3. 同窓会総会及び入会式・卒業祝賀会 平成 25 年 3 月 16 日 (土曜日) 於 札幌グランドホテル予定
4. 会報の発行 (会報及びホームページ委員の活動について) 会報「はまなすの実」21 号発行  
ホームページをリニューアルし充実して行く (年4回更新していく)
5. 支部の充実 室蘭支部開催 (平成 24 年 9 月 8 日 (土) ホテルサンルート室蘭にて)
6. 大学祭出展への助成 平成 24 年 10 月 8 日 (土) 給食提供
7. 教育研究助成金について 平成 24 年 10 月各学科に申請書配布
8. 大学への寄付 800 万円を平成 24 年 3 月 30 日に寄付しました。

# 24 年度決算見込み

自 平成24年3月1日  
至 平成24年12月末日現在  
(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	4,327,112	4,327,112	
会費	9,480,000	9,360,000	23年度 62名×20,000円=1,240,000円 24年度 406名×20,000円=8,120,000円
特別会計より 一般会計へ 雑収入		1,300,420	
	500	382	普通預金利息
計	13,807,612	14,987,914	
支出の部			
科目	予算	決算	備考
同窓会総会	1,000,000	751,437	総会会場費、入会式及び卒業祝賀会費
卒業祝賀会・入会式			
卒業記念品費	1,500,000	1,208,550	平成23年度卒業生 既製(272本) 別製(118本)
印刷費	1,000,000	557,100	会報印刷、総会出欠用返信書印刷
通信費	1,000,000	950,000	電話代、切手代、会報発送料金
事務消耗品費	300,000	281,274	事務用品、コピー機リース代
会議費	300,000	226,178	役員会、委員会(会報及び内印)
交通費	1,000,000	1,084,370	役員会、委員会(会報及び内印)
アルバイト費	800,000	776,489	アルバイト費(2名分)
ホームページ管理費	252,000	252,000	HP制作費及びサーバー管理
支部開催費	550,000	452,740	懇親会費、参加者交通費及び宿泊費
教育研究助成金	1,500,000	946,307	作業法学科、健康栄養学科、小野さん、須合さんへの助成
大学祭への協賛費	200,000	204,025	大学祭協賛金、給食食材費、装飾用品、交通費
予備費	500,000	45,750	同窓会費返還(2名)、お祝いスタンド花(70周年記念式典)
基本金積立金	0	0	
次年度繰越金	3,905,612	7,251,694	
計	13,807,612	14,987,914	

# 平成 25 年度予算 (案)

自 平成25年3月1日  
至 平成26年2月末日  
(単位 円)

科目	予算	備考
前年度繰越金	7,251,694	
会費	10,200,000	<大学> 25年度 510名×20,000円=10,200,000円
雑収入	500	普通預金利息
計	17,452,194	

支出の部			
科目	予算	備考	
総会、卒業祝賀会及び入会式	1,000,000	総会々場費、入会式及び卒業祝賀会	
卒業記念品費	1,800,000	平成24年度卒業生への記念品(ネームペン)	
印刷費	1,000,000	会報印刷・封筒印刷	
通信費	1,200,000	電話代・切手代・会報発送料金	
事務消耗品費	300,000	事務用品、コピー機リース料金他	
会議費	300,000	役員会・委員会(会報及び内印)・支部長会	
交通費	1,200,000	役員会・委員会(会報及び内印)・支部長会	
アルバイト費	800,000		
ホームページ管理費	252,000	年間管理費用(21,000円×12ヵ月)	
支部開催費	550,000	支部の講演会及び懇親会費	
教育研究助成金	1,500,000	学部への助成金	
大学祭への協賛費	200,000	大学祭協賛金及び交通費	
予備費	500,000	同窓会費返還の為の資金	
基本金積立金	0		
次年度繰越金	6,850,194		
計	17,452,194		

# 平成 24 年度 卒業祝賀会・同窓会入会式のご案内

場所 札幌グランドホテル 北海道札幌市中央区北 1 条西 4 丁目

日時 2013 年 3 月 16 日 (土)

総会 別館 4 階「こまくさ」 16:30 ~

祝賀会 別館 2 階 グランドホール 18:00 ~ 20:00

申込 会報同封のハガキまたは電話、

FAX または e-mail でお申し込みください。

TEL (0123)34-2515 FAX (0123)25-5350

e-mail: tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

締切 平成 25 年 2 月 28 日 (木) 必着



アクセスマップ

## 掲示板

### 同窓会名簿の個人情報の取り扱いについて

同級生・同窓生から「クラス会をやりたいので…」などの問い合わせの際に、住所などの個人の情報を公開しても良いかの意思確認をさせていただきます。

つきましては、同封の同窓会総会案内ハガキのなかで公開不可情報へチェックを付けたうえで返信下さい。

また、同窓会における個人情報の管理については下記のとおりです。

### 個人情報の利用目的

北海道文教大学同窓会「つるの会」は、大学が保有する会員等の個人情報の提供を受け、同窓会の目的である「会員相互の親睦を図り、母校の発展・充実に寄与する」のために個人情報を利用いたします。

- (1) 同窓会会報の送付
- (2) 同窓会本部からの事務連絡等文書の送付
- (3) 同窓会支部が主催する支部会の案内状送付
- (4) 同窓会支部からの事務連絡等文書の送付
- (5) その他同窓会に関する事務及び事務連絡

※同窓会で扱う情報は住所・氏名・メールアドレス・

電話番号・卒業年度及び学科です。

### 個人情報の管理について

同窓会では、会員等の個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう管理します。上記の個人情報の利用目的以外には、会員等ご本人のご承諾が無い限り、個人情報を使用しません。

また、提供いただいた個人情報を適切かつ慎重に管理し、漏洩、滅失、き損及び改ざん並びに個人情報へのアクセス等に対し、必要な防止措置を講じます

### 個人情報の追加・変更・訂正等について

同窓会にご提供いただいた個人情報の追加・変更・訂正等をご希望の方は同窓会事務局までご連絡下さい。

また、同窓会ホームページ内の「会員登録変更」からも受け付けます。

<http://www.tsurunokai.net/>

(個人情報の取り扱いについてはホームページでもご確認いただけます。)

## 編集後記

「はまなすの実」をご覧の皆様こんにちは。第 21 号の会報はいかがでしたでしょうか。

毎年このはまなすの実が届く頃、学生生活を思い出すきっかけとなっているかと思えます。今年度は、《鶴岡学園 創立 70 周年》節目の歳となっております。私は、改めてこの数字を目にしとても驚きました。私と同じくびっくりされた方、また懐かしく思われた方も多くいらっしゃるかと思えます。この学園の歴史の深さを感じます。

私は卒業して約 4 年、毎年卒業祝賀会・つるの会同窓会に参加させて頂いております。そこは、同期だけでなく先輩・後輩・先生、普段なかなか会うことの出来ない人達に同時に会うことの出来る瞬間で、私にとっての楽しみの場になっています。ぜひ、はまなすの実に目を通して頂いた方にもこの 70 周年を振り返る時間と懐かしい方々と触れ合う時間を迎え、この 1 年を締めくくって頂けたらと思います。

文責 中川 真希

### 北海道文教大学同窓会 事務局

〒061-1449  
恵庭市黄金中央5丁目 196 番地 (大学内)  
TEL (0123)34-2515  
FAX (0123)25-5350  
E-mail: tsurunokai@chic.ocn.ne.jp  
www.tsurunokai.net

### 会報及びホームページ委員会

樋本 浩司 (食 26 期) 熊野 彰俊 (中国 3 期)  
山本 由香子 (食 32 期) 須合 幸司 (健康栄養 1 期)  
池内 朋弥 (健康栄養 2 期) 中川 真希 (健康栄養 3 期)